

氏名（本籍）	劉弘涛（中華人民共和国）			
学位の種類	博士（学術）			
学位記番号	博甲第 6654 号			
学位授与年月	平成 25 年 4 月 30 日			
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当			
審査研究科	人間総合科学研究科			
学位論文題目	中国歴史文化名城・名鎮における歴史建造物の地震被害と保存の研究 四川省広元市昭化古城を事例として Damage and conservation of historic buildings in a historic city in china post earthquake A case study on Zhaohua old town of Guangyuan city in Sichuan province			
主査	筑波大学教授	博士（デザイン学）	上北恭史	
副査	筑波大学教授	工学博士	日高健一郎	
副査	筑波大学教授	工学博士	稲葉信子	
副査	三重大大学教授	工学博士	花里利一	

論文の内容の要旨

（目的）

本論文は、2008年5月12日に起こった中国四川大地震で被災した四川省の歴史文化名鎮昭化古城を対象に、①古城内の歴史的建造物の被災状況をフィールドワークから把握し、②文化遺産として指定保護されている文物保護単位建造物と未指摘歴史的建造物の被災内容の分析を通して、③歴史文化名鎮にある歴史的建造物の保護の問題を指摘し、防災に必要な課題を提示する研究である。

（対象と方法）

中国の歴史文化名城・名鎮保護制度は、文物保護法が1982年に制定されるときに始まった歴史的地区保護の制度である。日本の伝統的建造物群保存制度と同じように、歴史的地区を持つ地方自治体が都市計画に組み込んで保護する方式で、歴史的地区の保護と都市の発展を調和させる制度である。

昭化古城は紀元前3世紀あたりから記録されている古い街で、明から清時代の歴史的建造物と城壁の一部が残っており、2008年に全国の歴史文化名鎮として国務院から選定された。保護地区は城壁で囲まれた面積の約27ヘクタールのうちの10.4ヘクタールが指定された。保護地区の内部には

文物保護法によって指定された6箇所、36件の文物保護単位建造物が保護されている。しかし中国の歴史文化名城・名鎮の保護制度は、日本の伝統的建造物群保存制度と異なり、保護地区内の歴史的建造物を保護の対象として特定しない。このため著者は2008年5月の地震発生後から2012年7月にかけて計8回のフィールド調査を行い、未指定の歴史的建造物を含めて保護地区内に残る歴史的建造物197件について、建造物に関わる情報を収集し、損傷程度、損傷箇所等の被災状況を把握し、さらに修理経緯の記録を採取した。これらのフィールド調査で得られた歴史的建造物の被災情報が本研究の分析対象のデータになっている。

第1章で本研究の位置づけと意義を明らかにするとともに、災害に対する文化遺産の保護の必要性を説明し、第2章で中国の歴史文化名城・名鎮の歴史的建造物も保護される必要性を指摘している。さらに第3章で歴史文化名鎮昭化の歴史的価値を指摘し、その価値を地震によって損なわれないように復旧する必要性を論じた。そして第4章において、フィールド調査から得られた歴史的建造物197件のデータを、四川省の建造物地震被害基準に沿って3段階に分類し、さらに文物保護単位建造物と未指定歴史的建造物に分けて比較した。また第5章で歴史的建造物の復旧過程について分析し、昭化に残る歴史的建造物の指定状況による復旧過程の差異から、中国の歴史文化名城・名鎮制度における歴史的建造物の防災に対する保護手法を考察した。

(結果)

本研究において、歴史文化名鎮昭化に残る歴史的建造物のすべてが四川大地震で被害を受けていることが明らかにされた。被災状況の分析によると、穿闘木の伝統的構造を持つ歴史的建造物の多くは、軸組を覆う大壁を損傷する傾向がみられるが、軸組自体は損傷せずに倒壊にまで至らないことがわかった。しかし全壊や部分倒壊の重度損傷、および壁面の亀裂などの軽微損傷の状況は、文物保護単位建造物と未指定歴史的建造物で差異がみられた。それは重度損傷の文物保護単位建造物の被災要因は構造上の問題に起因すると思われるが、未指定歴史的建造物の場合は空き家による老朽化に原因があると考えられる。そして軽微損傷の場合、文物保護単位建造物は比較的良好に整備されていたために被害の程度は少なかったが、未指定歴史的建造物は新しい建築材料で改造され、構造的に丈夫であったために被害の程度が少ないという状況の違いが明らかになった。復旧過程においても両者に違いがみられ、文物保護単位建造物は文化遺産としてふさわしい方法で修理される状況に対して、未指定歴史的建造物は9パーセントが除却され、かつ修理方法も新しい材料で置きかえられるなど、歴史的価値を損なう状況がみられた。未指定歴史的建造物が文物保護単位建造物よりも大きく損傷したり、復旧の過程で除却、または歴史的価値を損なうような修理が施されたりする原因は、歴史文化名鎮の保護地区内にありながら、文化遺産として特定されず、保護の対象になっていないことが大きい。中国の歴史文化名城・名鎮にある歴史的建造物を地震災害から守るためには、歴史文化名城・名鎮保護制度を改正し、保護地区内に残る歴史的建造物すべてを保護の対象とし、予防措置を講ずることにより減災に結びつけていく必要性を指摘している。

(考察)

本研究は、四川大地震で被災した歴史文化名鎮昭化の歴史的建造物の復旧と防災対策を進展さ

せるために始めた研究であったが、研究を進めていくにつれて、歴史的建造物の被災原因が歴史文化名城・名鎮の保護制度にあることを明らかにした。多くの専門家は、地震対策のために歴史的建造物の補強が有効であると指摘している。それに対して、本研究は、整備された歴史的建造物はそれほど大きな被害を受けないことを明らかにした。また修理されずに放置された未指定歴史的建造物は、老朽化のために大きく損傷する状況も明らかにした。さらに軽微損傷の未指定歴史的建造物の一部は除却されたり、新築更新されたりしている状況を明らかにした。これは歴史的建造物の補強以前に議論されなければならない問題があることを示唆している。

四川大地震による復旧が進むにつれて、歴史文化名鎮昭化も回復しているように見えるが、文化遺産として修復される歴史的建造物は文物保護単位建造物だけで、その他の未指定歴史的建造物は現代の材料を用いて修理されるなど、歴史的価値が損われていることが明白になった。そもそも保存地区内にある未指定歴史的建造物は保存調査さえ行われておらず、本研究が明らかにしなければ、いくつかの歴史的建造物が消滅したこともわからないまま復興されてしまう。歴史文化名城・名鎮の歴史的価値は、保護地区内にある歴史的建造物にあり、これらすべての歴史的建造物が文化遺産としてふさわしい方法で復旧される必要がある。災害が起こる前に歴史的建造物を法的に特定し、維持・修理の対策を講じる予防措置こそが、防災に最も有効な方法と考えられる。

審査の結果の要旨

(批評)

2008年に起こった四川大地震から被災地はまだ復旧の過程にある。中国では被災地の調査報告書が発行されることはあまりなく、歴史文化名鎮の被災状況も正式に公表されていない。そのため本研究は、四川大地震による歴史文化名鎮の被災状況の記録としても意義のある研究である。本研究は、歴史的建造物の被災状況の分析から、中国南西部に残る穿闘木構造の木造建造物の被災傾向を把握し、歴史的建造物の被災理由を明らかにしている。そして歴史地区保存制度が保護対象にしていない未指定歴史的建造物の被害に視点をあて、歴史文化名鎮の歴史的価値が被災後に変化している状況を示した。歴史的地区にありながら保護の対象となっていない歴史的建造物は、文化遺産として修理も行われず放置され、結果として地震による被害を大きくする要因となっている。本研究は、中国の歴史文化名城・名鎮の保護制度が歴史的建造物の予防に対応しない限り、地震により他の歴史的地区が同じように被災する可能性を示唆している。

平成25年3月4日、学位論文審査委員会において、審査委員全員出席のもと論文について説明を求め、関連事項について質疑応答を行い、最終試験を行った。その結果、審査委員全員が合格と判定した。

よって、著者を博士（学術）の学位を受けるのに十分な資格を有するものと認める。